

【資料2】

使用料改定（案）について

使用料の適正化について

- ・電気料金、原材料費、人件費などの物価上昇傾向が続いています。
- ・使用料収入についても、節水意識の向上や人口減少によりゆるやかに減少することが見込まれます。
- ・現行使用料のままでは令和6年度から、年度末金残高、当年度純利益が赤字となることが見込まれます。
- ・使用料収入の不足により施設の維持管理が滞った場合、下水道管の老朽化による道路陥没や汚水ポンプの停止などのリスクが上昇します。
- ・災害などの不測の事態が発生した際に、下水道サービスを継続するためにも手持ち資金の蓄えが必要です。

(参考) 国が定める目安

平成17年1月21日全国財政課長・市町村課長合同会議資料

2. 使用料の適正化について

各団体においては、以下の考え方を参考として使用料の適正化を図られたい。

<参考>

- ① 汚水処理原価の算出にあたっては、地方公営企業法非適用事業にあっても、資本費平準化債の活用などにより世代間負担の公平化を図り、適正な原価を算出すること。
- ② 現在の使用料単価では汚水処理原価を回収できない事業にあっては、水道の使用料単価が176円/m³(家庭用使用料3,119円/20m³(家庭用使用料3,075円/20m³・月)(H15決算値)であること等にかんがみ、まずは使用料単価を150円/m³(家庭用使用料3,000円/20m³・月)に引き上げること。特に、資本費等汚水処理原価が著しく高くかつ経費回収率の低い事業にあっては、早急な使用料の適正化が望まれること。なお、汚水処理原価が150円/m³を下回る場合は、使用料単価は当該汚水処理原価を上限とすべきであること。

現行の使用料体系

○水道使用時の下水道使用料

料金表（現行）

料金区分	水量区分	
基本料金(円)	0m ³ ~8m ³	590
超過料金	9m ³ ~30m ³	105
	31m ³ ~50m ³	125
	51m ³ ~100m ³	135
	101m ³ ~200m ³	150
	201m ³ ~500m ³	160
	501m ³ ~1,000m ³	170
	1,001m ³ ~	180

早見表（現行）

消費税抜き

水量	料金(円)	水量	料金(円)
8m ³	590	70m ³	8,100
9m ³	695	80m ³	9,450
10m ³	800	90m ³	10,800
20m ³	1,850	100m ³	12,150
30m ³	2,900	200m ³	27,150
40m ³	4,150	300m ³	43,150
50m ³	5,400	500m ³	75,150
60m ³	6,750	1,000m ³	160,150

計算方法例: 平均的な1世帯水量
(20m³/1か月)



$$590 + 105 \times 12 = 1,850 \text{円/月}$$

⇒今回は、使用料体系(各水量区分の構成)については変更しないこととします。

○浴場汚水

水量区分	使用料 (円)
0m ³ ~500m ³	35
501m ³ ~1,000m ³	40
1,001m ³ ~	45

※令和5年度現在、行田市内には、浴場料金が適用される施設はありません。

⇒今回は据え置きとします。

○井戸水利用者

井戸水利用者に関しては、条例に定める基準により、業種・様態・世帯人数(構成員数・従業員数)などに応じて水量の認定を行った上で、上記料金表に当てはめて賦課します。

⇒今回は認定ルールなどについては変更しないこととします。

現行使用料（改定しなかった場合）

○収支予測

※千円単位（経費回収率を除く）

収支予測	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
使用料収入	546,711	557,538	566,525	573,600	580,642	583,883	583,277
年度末資金残高	-60,715	-167,044	-255,897	-252,258	-212,723	-183,580	-214,729
経費回収率(%)	75.6	76.2	76.9	77.7	78.3	78.7	78.8
基準内繰入	693,992	684,962	695,929	677,320	668,555	619,156	617,761
基準外繰入	196,412	150,000	130,000	120,000	100,000	100,000	0
繰入合計	890,404	834,962	825,929	797,320	768,555	719,156	617,761
当年度純利益	4,499	-39,508	-54,913	-60,179	-76,080	-43,284	-100,488

料金表（現行）

料金区分	水量区分	
基本料金(円)	0m ³ ～8m ³	590
超過料金	9m ³ ～30m ³	105
	31m ³ ～50m ³	125
	51m ³ ～100m ³	135
	101m ³ ～200m ³	150
	201m ³ ～500m ³	160
	501m ³ ～1,000m ³	170
	1,001m ³ ～	180

早見表（現行）

水量	料金(円)	水量	料金(円)
8m ³	590	70m ³	8,100
9m ³	695	80m ³	9,450
10m ³	800	90m ³	10,800
20m ³	1,850	100m ³	12,150
30m ³	2,900	200m ³	27,150
40m ³	4,150	300m ³	43,150
50m ³	5,400	500m ³	75,150
60m ³	6,750	1,000m ³	160,150

※料金表・早見表において
注記が無い箇所は
円単位

3つの目標

- ① 毎年の「年度末資金残高」を確保します。
- ② 毎年の「当年度純利益」を黒字にします。
- ③ 令和12年度までに一般会計からの基準外繰入金金をゼロにします。



安全かつ健全な経営のために、この3つの目標の達成を目指します。

令和7年3月より20%改定

○収支予測

※千円単位(経費回収率を除く)

改定後	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
使用料収入	555,172	656,310	660,550	662,967	665,904	666,385	664,452
年度末資金残高	116,285	89,450	75,434	149,322	265,118	347,844	412,042
経費回収率	76.7	89.7	89.7	89.8	89.8	89.8	89.8
基準内繰入	693,992	684,962	695,929	677,320	668,555	619,156	640,761
基準外繰入	223,412	140,000	120,000	110,000	100,000	80,000	0
繰入合計	917,404	824,962	815,929	787,320	768,555	699,156	640,761
当年度純利益	39,960	47,486	27,424	17,570	7,681	17,799	2,359

料金表(現行)

料金区分	水量区分	
基本料金	0㎡~8㎡	590
	9㎡~30㎡	105
超過料金	31㎡~50㎡	125
	51㎡~100㎡	135
	101㎡~200㎡	150
	201㎡~500㎡	160
	501㎡~1,000㎡	170
	1,001㎡~	180

料金表(改定後)

料金区分	水量区分		消費税抜き	
			増加額	増加率
基本料金	0㎡~8㎡	708	118	20.0%
	9㎡~30㎡	126	21	20.0%
超過料金	31㎡~50㎡	150	25	20.0%
	51㎡~100㎡	162	27	20.0%
	101㎡~200㎡	180	30	20.0%
	201㎡~500㎡	192	32	20.0%
	501㎡~1,000㎡	204	34	20.0%
	1,001㎡~	216	36	20.0%

平均 20.0%

計算方法例: 平均的な1世帯水量
(20㎡/1か月)



$$708 + 126 \times 12 = 2,220 \text{円/月}$$

※現行料金との差額(年間)

$$370 \text{円} \times 12 \text{か月} = 4,440 \text{円}$$

$$(2,220 - 1,850)$$

早見表(現行)

水量	料金	水量	料金
8㎡	590	70㎡	8,100
9㎡	695	80㎡	9,450
10㎡	800	90㎡	10,800
20㎡	1,850	100㎡	12,150
30㎡	2,900	200㎡	27,150
40㎡	4,150	300㎡	43,150
50㎡	5,400	500㎡	75,150
60㎡	6,750	1,000㎡	160,150

早見表(改定後)

水量	料金	増加額	増加率	水量	料金	増加額	増加率
8㎡	708	118	20.0%	70㎡	9,720	1,620	20.0%
9㎡	834	139	20.0%	80㎡	11,340	1,890	20.0%
10㎡	960	160	20.0%	90㎡	12,960	2,160	20.0%
20㎡	2,220	370	20.0%	100㎡	14,580	2,430	20.0%
30㎡	3,480	580	20.0%	200㎡	32,580	5,430	20.0%
40㎡	4,980	830	20.0%	300㎡	51,780	8,630	20.0%
50㎡	6,480	1,080	20.0%	500㎡	90,180	15,030	20.0%
60㎡	8,100	1,350	20.0%	1,000㎡	192,180	32,030	20.0%

※料金表・早見表において
注記が無い箇所は
円単位

物価高騰の状況

- ・2023年度の消費者物価指数(生鮮食品を除く)は、前年度比3%上昇し、高水準となりました。
- ・2023年9月の消費者物価指数においても、前月比で3.01%上昇し、依然として高水準が続いています。